

**別紙様式 1**

令和 5 年度仁方中学校区研究推進計画

校番 (01) 呉市立仁方小学校

校長名 木村 智子

1 学校教育目標

仁方中学校 「自ら学び、心豊かな生徒の育成」  
仁方小学校 「自ら学び、心豊かな仁方っ子を育てる」

2 目指す児童生徒像

仁方中学校 「守・破・離」の精神を貫く生徒  
～型を基盤に、自分の個性を発揮し、生き方を自己選択・自己決定できる～

仁方小学校 ①にこにこ笑顔で元気にあいさつ・返事をする  
②自分から学び、がんばって勉強や運動を最後までやりぬく  
③高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等	
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心
後期	発達段階に応じて、児童生徒が基本的な知識や技能を確実に習得し、進級している。	○物事の中から問題を見出し、解決方法を考え、計画を立てて実行し、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○精査した情報をもとに、自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、論理的・効果的に伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、目的意識をもって、積極的に課題を解決しようとしている。 ○よりよい生活や人間関係を自主的に形成し、課題解決に向け、多様な考えを尊重し、互いの良さを生かして協働している。	○規律ある安定した社会の実現に向け、自己の感情や行動を統制し、自分の思考や行動を客観的に把握し、認識し、(社会生活の中で)守るべき正しい姿を大切にしている。
中期		○物事の中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、試行錯誤して、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめて表現し、伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、自ら課題を解決しようとしている。 ○課題のよりよい解決に向け、他者の考えを尊重し、協働している。	○よりよい社会の実現に向け、自己の感情や行動を振り返り、守るべき正しい姿を大切にしている。
前期		○物事の中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすく伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、進んで課題を解決しようとしている。 ○課題解決に向け、他者と協働している。	○約束や社会のきまりの意義を理解しそれらを守ったり、公共物や公共の場所を大切にしたりしている。

#### 4 研究主題等

##### (1) 研究主題

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童生徒の育成  
～自分の考えを深め、表現する授業づくり～

##### (2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

- 本校区は、平成30年度より「学力向上推進地域事業」の指定を3年間受け、国語科・算数数学科を中心に基礎学力の定着と主体的な学びの具現化を図ってきた。そのため、着実に知識・技能の定着を図ることができてきた。一方で、身に付けた知識・技能を活用して思考したり、自分の考えを多様に表現したりすることに課題があることについては顕著な改善には至っていない。小学校では、令和4年度の標準学力調査の結果から、どの学年でも「複数の情報を関連付けて考えること」や「目的に応じて必要な情報を見付け出し、適切に表現すること」に課題が見られた。中学校では、令和4年度の学力調査の結果から、「より適切な言葉を選んで伝えること」や「文章問題を読み取ること」、「根拠を基に説明すること」に課題があると分かった。

そこで本中学校区では、研究教科の柱に生活科・総合的な学習の時間を設定し、学習への主体性をより高め、思考力・判断力・表現力を育成していくこととした。生活科・総合的な学習の時間では、児童生徒が直面している様々な問題や課題を自分事として捉え、児童自身が情報を収集したり、収集した情報等を比較・分類・関係付けるなど整理・分析したりすることで自分なりの意見を創り出し、協働しながら問題課題に向け行動していく。一方、教科の学習において、思考を深め自己の考えの表出ができるように、「根拠を基に、論理的に考えること」「自分の考えを多様な方法で表現すること」に重点を置いて指導をする。教科と生活科・総合的な学習の時間を重視することで、児童生徒の「主体性」や「思考力・判断力・表現力」を高める。

##### (3) 研究仮説

自分の考えを深め、表現する授業を行えば、児童生徒の思考力・判断力・表現力が高まるであろう。

#### 5 研究内容

##### (1) 学びの主体性の喚起

- ①児童生徒にとって身近な事象からの教材開発
- ②既習事項との違いを意識した導入の工夫

##### (2) 思考力・判断力・表現力を高めるための授業展開・単元構成の工夫

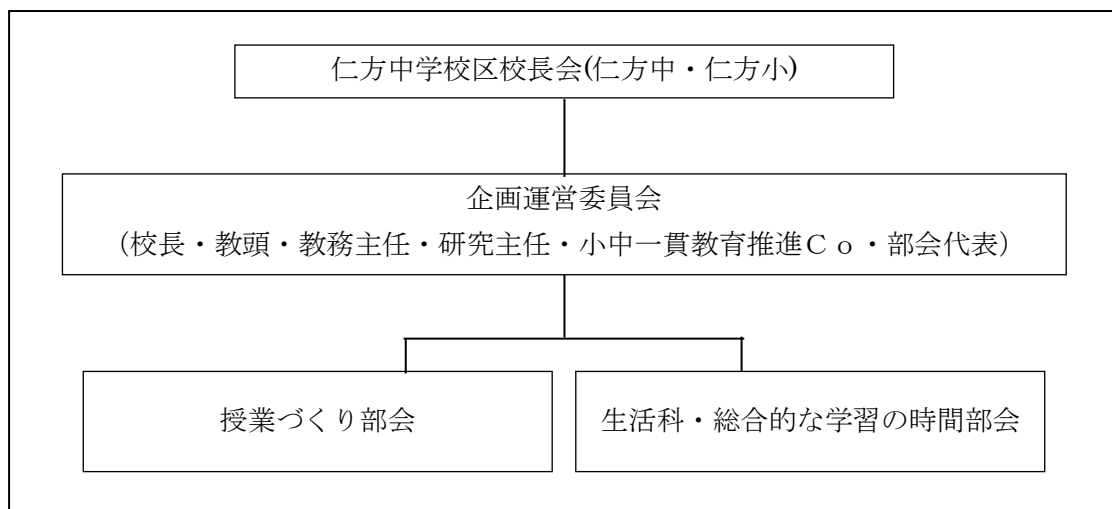
- ①生活場面や他教科等と関連を図った課題発見・解決学習の単元開発
- ②表現方法の多様化（ICTの効果的な活用等）
- ③話し合い活動の場の設定の工夫
- ④思考を促す発問
- ⑤授業の振り返りにおける記述の視点の提示

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 主体的な学びを促す授業を創造することができたか。	授業評価表	研究授業における教職員の相互評価値の平均（4段階評価）	小学校3.5	3以上
			中学校3.7	
	教師アンケート	教職員の肯定的評価値の平均（4段階評価）	小学校2.8	
			中学校3.5	
② 資質・能力を育成することができたか。	児童生徒アンケート	児童生徒の肯定的評価	小学校3.6	3.5以上
			中学校3.3	
③ 児童生徒の学力が向上したか。	全国学力・学習状況調査（国語，算数・数学）	全国平均との差	小学校 国語 +13.4 算数 +8.8 中学校（3年） 国語 -0.2 数学 -1.5	全国平均との差 小学校+2 中学校+2
	標準学力調査（国語，算数・数学）	全国平均との差	小学校 国語 +3.8 算数 +3.4 中学校 1年生 国語 -1.7 数学 -1.7 中学校 2年生 国語 -3.8 数学 -2.7	全国平均との差 小学校+5 中学校+2

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等

(中→小) 2学期：数学科

(小→中) 中学校補習授業（夏季休業中に実施）

イ 小学校教科担任制等

第5・6学年（理科）

第3・4・5・6学年（音楽）

(3) 異学年交流

中学3年生－小学2年生（読み聞かせ）

中学2年生－小学6年生（オープンスクール）

## 8 推進計画

月 日	内容	
	仁方中学校	仁方小学校
4月13日	研修計画（研究主題，研究仮説，研究内容の詳細立案），研究理論研修，全体授業研究①	研修計画（研究主題，研究仮説，研究内容の詳細立案），研究理論研修，全体授業研究①
4月18日	第1回企画運営委員会	
5月1日	第1回小中合同研修（各部会での協議） 第2回企画運営委員会	
5月	校内研修	校内研修
7月21日	意識調査・学力テストの結果分析，成果と課題（1学期）	意識調査・単元末テストの結果分析，成果と課題（1学期）
8月25日	学力補充の取組についての振り返りと改善計画	学力補充の取組についての振り返りと改善計画
8月29日	第2回小中合同研修 第3回企画運営委員会	
9月		ブロック授業研究①，ブロック授業研究②
9月26日	学力調査の結果を受けての改善研修	学力調査の結果を受けての改善研修
10月		ブロック授業研究③ブロック授業研究④ ブロック授業研究⑤
10月13日	ブロック授業研究①	全体研修②，ブロック授業研究⑥
10月26日	第3回小中合同研修会（中学校研究授業・研究協議）	
11月	ブロック授業研究②	ブロック授業研究⑥ブロック授業研究⑦，
11月2日	第4回小中合同研修（小学校研究授業・研究協議）	
12月15日	意識調査・単元末テストの結果分析，成果と課題（2学期）	意識調査・単元末テストの結果分析，成果と課題（2学期）
12月26日	標準学力調査（年度末）及び次年度の学力調査に向けての検討	標準学力調査（年度末）及び次年度の学力調査に向けての検討
1月29日	第5回小中合同研修（今年度のまとめ・次年度に向けて） 第4回企画運営委員会	
2月22日	標準学力調査の結果分析，意識調査・単元末テストの結果，来年度の計画	標準学力調査の結果分析，意識調査・単元末テストの結果，来年度の計画
3月21日	成果と課題の発表，「研究のあゆみ」作成	成果と課題の発表，「研究のあゆみ」作成

## 9 その他

- ・小中交流活動
- ・小中一貫だより（年2回 発行予定）  
12月中学校小中一貫CO.作成 3月小学校小中一貫CO.作成
- ・研究構想図（別紙）
- ・カリキュラムマップ